

## チェーンソーよもやま話

これからシリーズで、チェーンソーに関する様々なお話をさせて頂きます。

但し、お話しする内容には、私見も含まれていることをご了承ください。

### 第4話

#### 《クサビ》

ノコ道を確保したり、樹の傾きを強制するのに「クサビ」「矢」とも言う)を使用します。

クサビとは、約7度前後の角度をもった三角形の板とでも言えば良いのでしょうか。

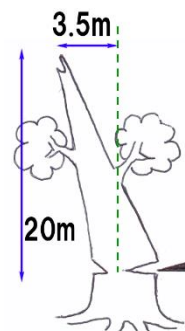
とてもシンプルな道具ですが、効用はすこぶる絶大です。



下図で示すように、伐倒の際に「追い口」に打ち込めば樹高 20mの木のてっぺんは 3.5mも移動するのですから、伐倒方向をコントロールする有効な手段であることが分かります。

私が知る限りでは、ボランティアで伐倒に携わる方はロープを使って倒そうとする傾向があるように見受けられます。確かに、「かかり木」になった際のアト処理のしやすさを考えたり、伐倒方向に自信がなかったりするのでしょうが、クサビの持つ力を最大限活用して頂ければと思います。

少なくとも、ロープと併用して使用すればロープへの負担もずいぶん軽減されるはずで



クサビの大きさは、大・中・小の3種類があり、同形を2枚セットで使うことが多いです。

そして、近年使用されるクサビのほとんどがプラスチック製です。

上手に打ち込まないと折れてしまうことがありますので、使い方をよく勉強して下さい。

しっかりと学習したい方は、「森づくり・奈良クラブ」に入会されることをお勧めします。  
(まずはメールでご連絡下さい gvnc●nifty.com) ※●印は@に書き換えて